

# 経済情報:2021年10-12月期の 実質GDP成長率(1次速報値)

2022年2月15日 三菱UFJ銀行 経営企画部 経済調査室



## 1. 要旨

- 2021年10-12月期の実質GDP成長率(1次速報値)は前期比年率+5.4%と、先のデルタ株の感染状況の落ち着きを受けた 各種制限措置の緩和や供給制約の一部改善等により内外需ともに持ち直し、2四半期ぶりのプラス。個人消費がサービスを 中心に大幅に増加したほか、輸出・設備投資も増加に転じた。10-12月期の実質GDPは、コロナ禍前の2019年平均比 ▲2.1%の水準まで回復(2019年10月の消費増税直前の4四半期平均比だと▲2.5%)。
- 先行きを展望すると、1-3月期はオミクロン株の蔓延を受けた各種制限措置の再強化により、景気は対面サービス消費を中心 に再び一時的な停滞をみせる見込み。もっとも、4-6月期以降は感染が落ち着き、再び各種制限措置の緩和が進められるとの 前提に立てば、緩やかな回復基調を取り戻すとみられる。岸田政権の経済対策も一部景気のサポート材料になろう。



(資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

#### 四半期別実質GDPの推移(計数)

|   |       |       | V 13*    | 179120     ( 707 |  |
|---|-------|-------|----------|------------------|--|
|   | 2021年 | 7-9月期 | 10-12月期( | (1次速報値)          |  |
|   | 4-6月期 | 7-3月刊 |          | (寄与度)            |  |
| P | 2.4   | ▲2.7  | 5.4      | _                |  |

|                |    |            | 4-6月期         | 1-973         |               | (寄与度)  |
|----------------|----|------------|---------------|---------------|---------------|--------|
| 実質GDP          |    | DP         | 2.4           | ▲2.7          | 5.4           | _      |
|                |    | 個人消費       | 2.8           | ▲3.7          | 11.2          | (5.8)  |
| 月日常            | 国内 | 住宅投資       | 4.2           | ▲6.3          | ▲3.7          | (▲0.1) |
|                | 民需 | 設備投資       | 8.2           | ▲9.2          | 1.6           | (0.3)  |
|                | ,  | 在庫投資       | (0.0)         | (0.4)         | _             | (▲0.5) |
|                | 公  | 的需要        | ▲0.5          | 0.9           | ▲3.4          | (▲0.9) |
|                |    | 政府最終消費支出   | 2.9           | 4.4           | ▲1.3          | (▲0.3) |
|                |    | 公共投資       | <b>▲</b> 12.7 | <b>▲</b> 11.4 | <b>▲</b> 12.4 | (▲0.7) |
|                | 純  | 輸出         | (▲0.3)        | (0.4)         | _             | (8.0)  |
|                |    | 輸出         | 13.0          | ▲1.1          | 3.9           | (0.7)  |
|                |    | 輸入         | 15.9          | ▲3.7          | ▲1.1          | (0.2)  |
| GDPデフレーター(前期比) |    | プレーター(前期比) | ▲0.4          | ▲0.4          | ▲0.8          | _      |
| 名目GDP          |    | DP         | 0.9           | ▲4.1          | 2.0           | _      |

(注)カッコ内は、実質GDPの前期比年率伸び率に対する寄与度。 (資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

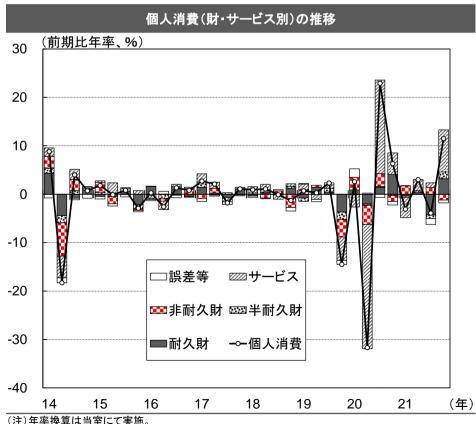


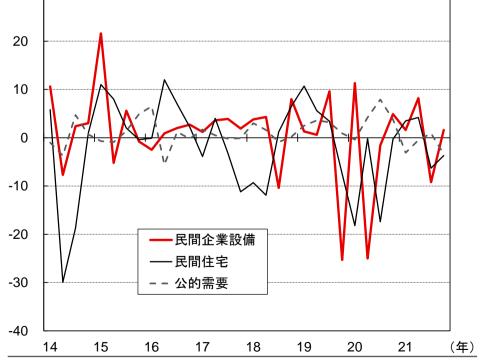
(前期比年率 %)

### 2. 内需項目

- 個人消費は前期比年率+11.2%と大幅に増加。感染状況の落ち着きを受け各種制限措置の緩和が進められたことを背景に、 サービスが同土14.8%と高い伸びを示したほか、部品供給不足が一部改善したことで自動車など耐久財も持ち直し。
- 住宅投資は同▲3.7%と、コロナ禍を受けた落ち込みからの持ち直しが一服し、2四半期連続で減少。
- 設備投資は同十1.6%と2四半期ぶりに回復。供給制約の一部緩和を背景に輸送用機械投資が持ち直したとみられる。
- 公的需要は同▲3.4%と減少。公的固定資本形成が4四半期連続で減少したほか、新型コロナウイルスのワクチン2回接種が 概ね一巡したこともあり、政府消費も3四半期ぶりに減少。

30





その他の内需項目の推移

(資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

(前期比年率、%)

<sup>(</sup>資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

## 3. 外需項目

- 輸出は前期比年率+3.9%と2四半期ぶりに増加。供給制約の一部緩和を背景に自動車輸出が持ち直したことを受け、財が 同十6.4%と増加。
- 輸入は同▲1.1%と、内需回復を受けて財は増加に転じたものの、サービスの落ち込みが続いたことで、2四半期連続で減少。
- 結果として、純輸出(輸出−輸入)の寄与度は同+0.8%ポイントと2四半期連続でプラス。



(注)年率換算は当室にて実施。



(注)年率換算は当室にて実施。

(資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

<sup>(</sup>資料)内閣府統計より三菱UFJ銀行経済調査室作成

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。 ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できる と思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。 内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により 保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。



会社名:株式会社三菱UFJ銀行 経済調査室 〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1

照会先:山田 遼 e-mail:riyou\_yamada@mufg.jp

